

認知症講演会 人とのつながりで支える認知症への理解

5人に1人が発症するといわれる認知症への理解を深めることを目的とした「認知症講演会」が9月18日にコスモスコミュニティセンターで開催されました。講師の勅使河原さんは「認知症と向き合うには、当事者やその家族にとって人の温かさや関係性を感じられる場所を作っていくことが大切」と強調しました。



↑ 認知症に関する基礎知識から、病気を取り巻く状況や現実を詳しく解説。

↓ 台湾全土で約200名の応募の中、厳正な面接を経て選ばれた高校生20名が参加。



7世代キャンプ「インバウンドキャンプ研修」 チームワークと生きる力を学んだ3日間

「7世代キャンプ場」で、台湾の高校生らを対象とした2泊3日のインバウンドキャンプ研修が7月3日に開催されました。参加者は自らの手で寝床を作るテント設営や野菜の収穫体験・調理を通して、お金で買える現代の便利さから離れ、日本の豊かな自然と地域文化に触れながらチームワークを育みました。

↓ 隊員に委嘱されたオヲコニラン・アデオラ・ルカヤット氏 ㊦(アメリカ)・チャンツイ・エレニ氏 ㊦。(ギリシャ)



地域おこし協力隊委嘱式 バレーでつなぐ地域の未来

地域の課題解決や魅力向上のために活動する「地域おこし協力隊」として「カノアラウレアーズ福岡」所属の2人が委嘱されました。任期は令和8年9月1日から令和11年8月末までの3年間。来日したばかりの2人は「早く環境に慣れ、町の皆さんに試合を観に来てもらったり、地域を盛り上げたり、たくさん貢献できるように頑張りたい」と声を揃えました。

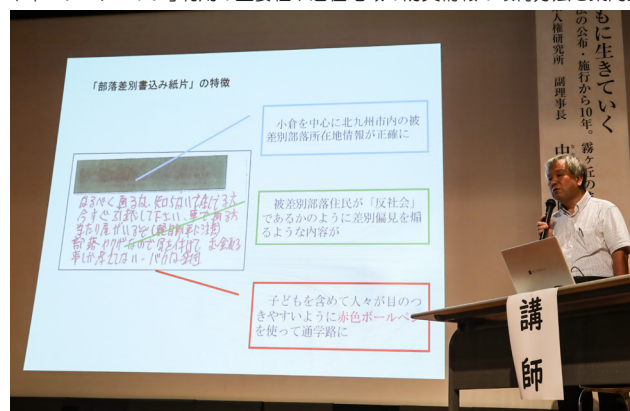
福智町グローバル人材育成海外研修事業報告会 異国の文化を学び町の課題解決めざす

8月に6日間にわたってハワイで行われた「福智町グローバル人材育成海外研修」から帰国した町内の中学生8人による報告会が9月27日に「ふくちのち」で開催されました。ハワイ研修で見たことや学んだこと・経験したことを、福智町でどう活かすかを3グループに分かれて検討し、約90人の来場者へ発表しました。



↑ 商店街、閉校した校舎の再利用に着目した地域活性化策について発表。

↓ 「ハザードマップ」利用の重要性や居住地域の防災情報の取得方法を案内。



福智町人権のまちづくり講座 差別をしない・許さない意識の醸成を

部落差別への理解を深め、差別のない社会の実現を目的とした「人権のまちづくり講座」が9月24日に金田隣保館で開催されました。中島講師は「差別は過去の問題ではなく、私たち一人ひとりが正しい知識を持って学び続けることが大切」と来場した176人に呼びかけ、行政だけでなく、個人の意識の変革を求めました。

持続可能な地域づくりフォーラム 持続可能な地域づくりのカタチを学ぶ

地域の課題を共有し、持続可能な地域づくりについて考える「福智町地域づくりフォーラム」が行政区長会・社会福祉協議会の共催で10月13日に初開催されました。約200人超の来場者は、大分大の山浦准教授の講演や2名の登壇者を招いたシンポジウムに耳を傾け、地域づくりの新たな仕組みについて学びました。



↑ 「ピザカフェげんき畑」の大西店長と「榊7世代先へ」の日高代表も登壇。

↓ パンフレットは役場や「ふくちのち」「上野の里ふれあい交流会館」に設置。



多言語観光パンフレット作成 福智町の魅力を一冊に凝縮した観光本

福智町出身の漫画家、きゅっきゅぼんさんがイラストを手がけた多言語観光パンフレット「FUKUCHI 50THINGS TO DO」を新たに作成しました。この1冊で町の魅力が丸ごとわかる本書は、英語・韓国語の2言語で発行。きゅっきゅぼんさんは「少しでも自分が町のために協力できることがうれしい」と故郷への想いを語りました。